



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院

患者支援センター

地域医療連携室ニュース



2020年 12月号

川崎幸病院 患者支援センター 地域医療連携室 TEL:044-544-4611(代)
〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町31番27



川崎幸病院 消化器内科 診療体制のご紹介



消化器内科部長 大前 芳男
内視鏡センター長

■ 専門分野・得意とする手技

消化器内科全般 内視鏡診断・治療(上部・下部消化管、胆膵)

■ 略歴

1997年 群馬大学医学部卒
1997年 群馬大学医学部附属病院 第一内科
2001年 亀田総合病院 消化器内科
2003年 昭和大学横浜市北部病院 消化器センター
2004年 昭和大学横浜市北部病院 消化器センター員外助手
2005年 川崎幸病院 消化器内科

■ 学会認定・資格等

日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医・指導医
日本消化器内視鏡学会 関東支部 評議員
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本消化管学会胃腸科専門医・指導医
日本カプセル内視鏡学会専門医・指導医
厚生労働省認定臨床研修指導医

2020年は新型コロナウイルスの流行により、川崎幸病院の内視鏡体制も非常に難しい対応を取らなければならない状況になりました。感染防止の観点から、4月から緊急性のない内視鏡検査は延期をお願いさせて頂きました。患者様や登録医の先生方には、大変ご不便をおかけして申し訳ありませんでした。

4月7日に神奈川県を含む7都府県に緊急事態宣言が発令され、5月25日に解除されましたが、現在も決して終息したわけではなく、新型コロナウイルスとの戦いは続いております。

川崎幸病院では、6月より、通常の内視鏡検査も再開いたしましたが、院内クラスターを発生させないために、PPE（個人用防護服）、消毒を厳守することに加えて、入院患者様と外来患者様が混在しないように時間と場所のゾーニングを徹底して行っております。そのため、内視鏡検査を受けられる外来患者様には、大変申し訳ありませんが、2階から3階へは階段で上がって頂いております。階段を上がることが困難な患者様は、第二川崎幸クリニックでの検査や入院での検査で対応させて頂いております。

まだまだ困難な状況は続くと思いますが、地域医療に貢献できるように全力で取り組んでまいります。



PPE着用しての内視鏡検査



3階までは階段を利用いただき、内視鏡室前はゾーニングしております。

消化器内科は急性疾患に対する24時間対応と高度専門医療の提供を2本柱として診療を行っております。消化器急性疾患の対応としては、医師、看護師、技師がチームとなり24時間緊急内視鏡検査を安全に行える体制をとっており、消化管出血や急性胆管炎等の緊急で内視鏡治療を要する患者様も積極的に受け入れております。



高度専門医療の提供として、消化管領域に関しては、早期癌に対して、NBI（狭帯域光観察）や拡大内視鏡を用いた拡大観察により正確な診断を行い、ESD（内視鏡的粘膜下層剥離術）で低侵襲な内視鏡治療を行っております。



胆膵領域に関しては、ERCP（内視鏡的胆管膵管造影）だけでなく、EUS（超音波内視鏡）を用いた精査、治療も行っております。膵癌に対するEUS-FNAB（超音波内視鏡下針生検）による診断だけでなく、急性膵炎後の

膵仮性嚢胞（PPC）や被包化壊死（WON）への感染合併に対して、EUS-CD（超音波内視鏡下嚢胞ドレナージ）を行っており、必要時にはLAMS（Lumen Apposing Metallic stent）を用いています。

川崎幸病院消化器内科は、地域医療に貢献できるように、日々診療しております。

◎対象疾患◎

悪性疾患：食道癌、胃癌、大腸癌、GIST、胆管癌、膵臓癌、肝臓癌

境界疾患：胃腺腫、大腸ポリープ、膵嚢胞性疾患（IPMN等）

良性疾患：胃潰瘍、十二指腸潰瘍、炎症性腸疾患（潰瘍性大腸炎、クローン）

虚血性腸炎、大腸憩室炎、憩室出血、総胆管結石、急性胆管炎、急性胆嚢炎

急性膵炎、慢性膵炎、肝硬変

*上記以外にも消化器領域の疾患はすべて対象疾患となります。

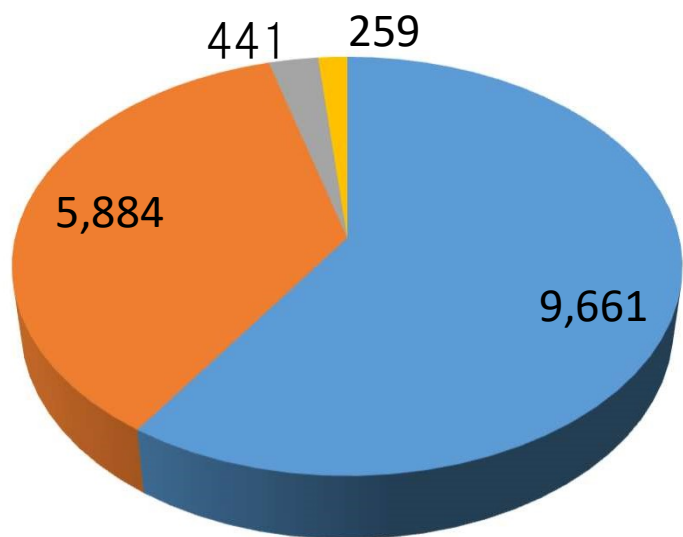


一般の方向けに早期発見のための大腸がん検診について動画を作成いたしました。よろしければご覧ください。

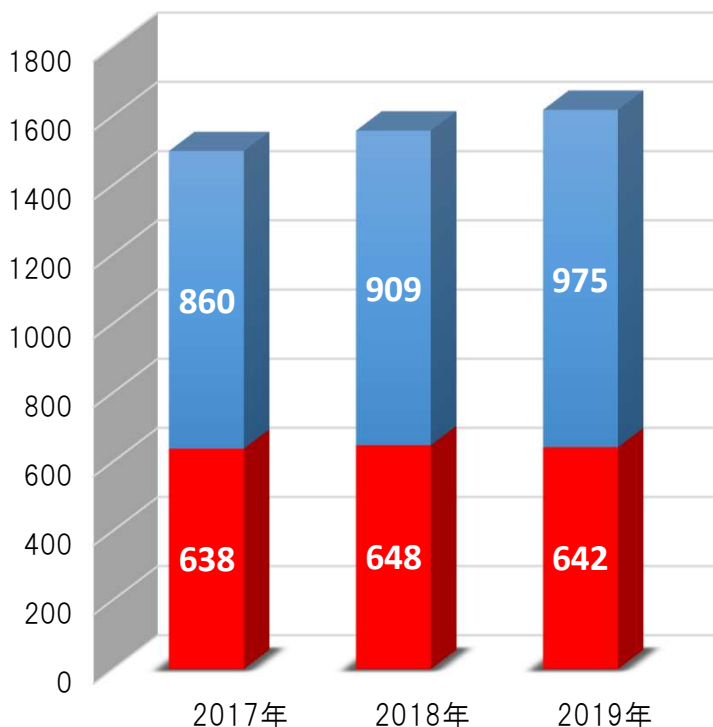




■ 内視鏡検査総件数（2019年）
（川崎幸病院・第二川崎幸クリニック合計）



■ オープン検査件数年次推移

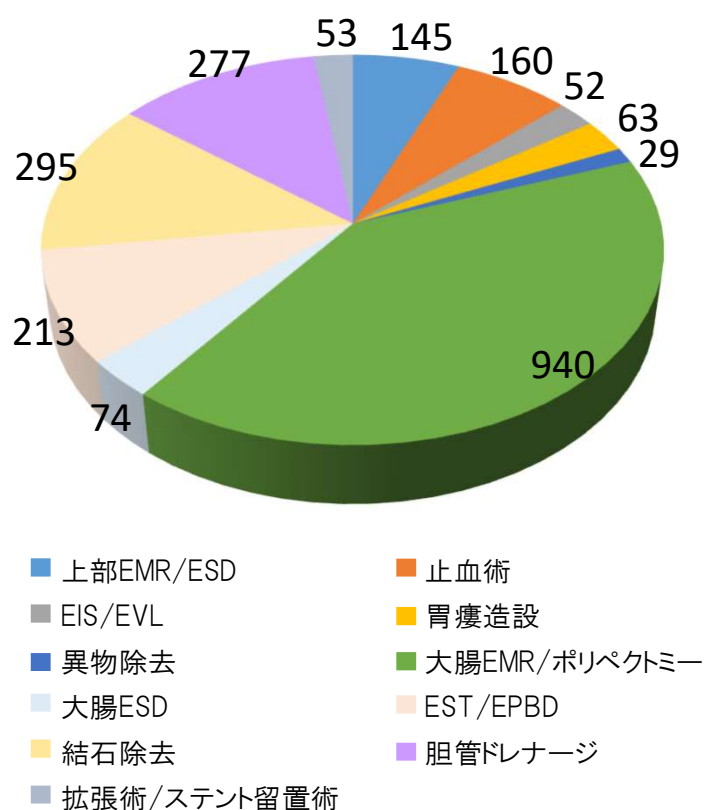


■ 上部内視鏡検査	860	909	975
■ 下部内視鏡検査	638	648	642

■ 内視鏡治療件数年次推移

	2017年	2018年	2019年
■ 上部EMR/ESD	116	132	145
■ 止血術	132	139	160
■ EIS/EVL	46	40	52
■ 胃瘻造設	69	55	63
■ 異物除去	29	29	29
■ 大腸EMR/ポリペクトミー	944	940	940
■ 大腸ESD	62	55	74
■ EST/EPBD	215	283	213
■ 結石除去	276	294	295
■ 胆管ドレナージ	262	254	277
■ 拡張術/ステント留置術	47	54	53

■ 内視鏡治療施行2,301件の内訳（2019年）





消化器内科医長

谷口 文崇

■ 専門分野

消化器内科全般
(上部・下部消化管・肝胆膵)

■ 略歴

2004年 大阪大学医学部卒

■ 学会認定・資格等

日本内科学会総合内科専門医
日本内科学会認定医
日本消化器病学会消化器病専門医
日本消化器内視鏡学会消化器内科専門医
日本がん治療認定医機構がん治療認定医

生まれ育った関西を離れ、2016年4月に当院に赴任して以降、上司・同僚・スタッフに恵まれて、早いもので4年が過ぎました。地域住民の皆さんのお役に立てるよう日々診療しています。

最近のトピックスとして、AIを用いた画像診断やその周辺の分野にも取り組んでいます。

近年のコンピューター処理速度の向上により、自動運転車やスマートスピーカーが現実のものとなり、AI(人工知能)が私たちの日常生活にも浸透しつつあります。医療分野においても、特に画像診断の領域では、専門医に匹敵あるいは上回る成績を見せ始めています。

消化器内科分野においてもAIの実用化が進みつつあり、当科でも「AIによる内視鏡画像自動診断(病変拾いあげ)システムの実証実験」に、共同研究機関として参加しています。これにはディープラーニングと呼ばれる手法を用いるため、AIが画像の判断を行うにあたり「教師」データとなる内視鏡画像が必要となります。そうした高品質の画像データを当科の専門医が撮像・匿名化して提供しています。

常に最先端・最善の医療を提供できるよう引き続き努力していく所存です。今後とも宜しくお願い致します。

(人工知能)

当院は「内視鏡AI」研究に協力しています



内視鏡医を支援して病気の早期発見精度を高めるAI(人工知能)の実現を、目指しています

お願い

「当院で撮影された患者様の内視鏡画像」を院外の研究者に提供することがあります。医学的情報(診断内容など)を併せて提供する場合もあります。提供に同意いただけない場合は、お手数ですがお申し出ください。

- データは匿名化され、プライバシー情報(名前や住所など)は含まれません。学会などで研究成果が発表される場合でも、個人を特定できる情報は含まれません。
- 提供に同意いただけない場合でも、診療内容に影響はありません。
- 本研究の科学的妥当性と倫理性は、日本医師会倫理審査委員会などにより審査、承認されています。
- 外部提供データは匿名化されたため、後日に消去することはできません。

研究の趣旨、内容、最新成果をもっと詳しく知りたい方は、ネットで「AIメディカル」と検索してください

AIメディカル
検索

ISSN: 0016-5307
Volume 85, Number 1, January 2018

GIE

Gastrointestinal Endoscopy

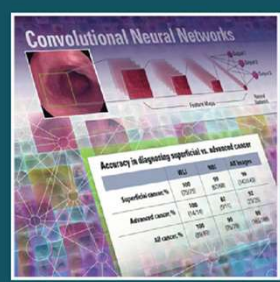


Image from Morie et al. Diagnostic outcomes of esophageal cancer by artificial intelligence using convolutional neural networks, p. 25

Laparoscopic magnetic sphincter augmentation vs double-dose proton pump inhibitors for management of regurgitation in GERD

Diagnostic outcomes of esophageal cancer by artificial intelligence using convolutional neural networks

Efficacy of early video capsule endoscopy compared with standards of care in the approach to nonhematemesis GI bleeding

Neural network algorithm for detection of GI angiectasia during small-bowel capsule endoscopy

ELSEVIER
www.giejournal.org
ASGE members: www.asge.org





消化器内科医長

塚本 啓祐

■ 専門分野

胆膵疾患 (ERCP・EUS)

■ 学会認定・資格等

日本内科学会総合内科専門医

日本内科学会認定医

日本消化器病学会専門医

日本消化器内視鏡学会専門医

日本胆道学会認定指導医

日本膵臓学会認定指導医

日本超音波学会専門医・指導医

日本がん治療認定医機構がん治療認定医

■ 略歴

2004年 自治医科大学医学部卒

2012年 宮城県立がんセンター 胆膵グループ

2016年 川崎幸病院 消化器内科

2004年自治医大を卒業後、出身地である宮城県で初期研修を終え、県内の中小規模病院で地域医療に従事したのち、宮城県立がんセンターの胆膵グループで胆膵領域の癌診療の研鑽を積みました。2016年より当院で主に胆膵領域の診療を担当しております。

胆膵領域の診療の中心となるのはERCP(内視鏡的逆行性胆管膵管造影)やEUS(超音波内視鏡)で、当院では年間ERCP450例、EUS300例と病床規模に比して数多くの検査をおこなっています。特にEUSは観察だけでなく、胆膵腫瘍および消化管粘膜下腫瘍に対する穿刺吸引針生検(EUS-FNA)や腹腔内の液体貯留に対するEUS-TD(超音波内視鏡ガイド下経消化管ドレナージ)など、近年最も広がりを見せている検査・手技です。

その中から当院が注力している内視鏡治療のひとつであるEUS-CD(超音波内視鏡下嚢胞ドレナージ)をご紹介します。

これは、急性膵炎の合併症である仮性嚢胞やWON(Walled-off Necrosis; 被包化壊死)といった、胃と膵臓の間に形成された液体貯留に対し、超音波内視鏡下に穿刺・ステント留置を行うことで排膿、治癒を得る手技です。

従来のプラスチック製ステントを用いる方法(図1)に加え、2018年9月に保健収載された専用の金属ステント(LAMS:Lumen Apposing Metallic stent)を用いる方法(図2)があります。LAMSは少数の膵臓専門診療施設にのみ使用が許可され、当院では、現在まで10例を超える使用経験を有し、県内でも有数の施設となっております。



図1

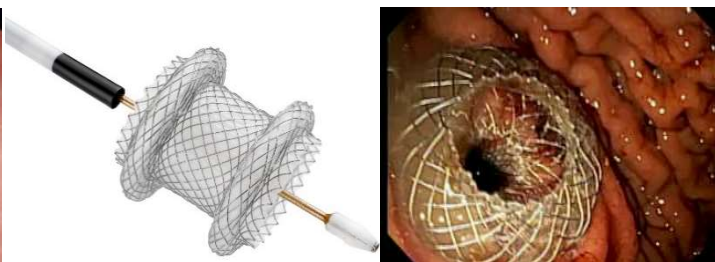


図2

地域で信頼していただける施設となれるよう、引き続き胆膵分野を中心に全力で診療に取り組んでいきたいと思っております。



消化器内科医長

森重 健二郎

■ 専門分野

消化器内科全般
内視鏡診断・治療(上部・下部消化管)

■ 学会認定・資格等

日本内科学会総合内科専門医
日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医
日本肝臓学会専門医
日本消化器内視鏡学会関東支部評議員

■ 略歴

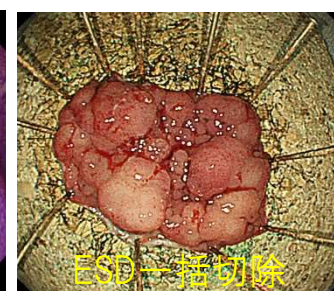
2006年 杏林大学医学部卒
2011年 がん研有明病院 内視鏡診療部医員
2016年 川崎幸病院 消化器内科

消化器内科の森重です。私は2011年より、がん研有明病院内視鏡診療部で消化管がんの内視鏡診断・治療のトレーニングを5年間行い、2016年4月より川崎幸病院に赴任し、現在では主に消化器がんの内視鏡治療を担当しています。

消化管で発見されるがんは、リンパ節転移の少ない早期の段階であれば内視鏡的切除で外科手術と同等の治癒を得ることが可能です。内視鏡切除は体への侵襲が少なく、QOL向上が期待されますが、なかでも近年開発された内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)ではサイズの大きな病変でも一括で切除することが可能なため、従来の内視鏡的粘膜切除術(EMR)に比べ根治性が飛躍的に向上しつつあります。さらに外科的切除にするかどうか迷うような症例に対しても、まずは侵襲の少ないESDで病変を一括切除し、病理学的に評価したうえで外科的切除を追加するかどうかを検討する(診断的切除)といった選択も可能となりました。これは現在の高齢化社会において患者様のニーズに沿った有用な治療であると言えます。当院では主に食道がん、胃がん、大腸がんに対するESDに積極的に取り組んでおり、良好な治療成績を収めております。

また内視鏡による治療戦略を決定するうえで重要なものが術前の内視鏡診断であり、それに欠かせないものの一つとしてNBI(Narrow Band Imaging)を併用した拡大観察が挙げられます。NBI拡大観察は、狭帯域化された2つの波長の光をあてることで強調された粘膜表層の毛細血管と粘膜微細模様を拡大観察することにより、病変の質的診断や量的・範囲診断をこれまでよりも正確行うことができます。当院では全例NBIを併用することで、正確な内視鏡診断のもと治療方針を決定するよう常に心掛けております。

診断や治療方針についてお困りの病変がございましたら、どのような些細なものでも構いませんので、一度ご相談頂ければ幸いです。先生方の日頃の診療の一助になればと考えております。今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。





消化器内科医長

岡本 法奈

■ 専門分野

消化器内科全般
内視鏡診断・治療
(上部・下部消化管、胆膵)

■ 学会認定・資格等

日本内科学会認定医
日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医
日本カプセル内視鏡学会認定医

■ 略歴

2009年 旭川医大医学部卒
2009年 旭川厚生病院
2012年 川崎幸病院 消化器内科

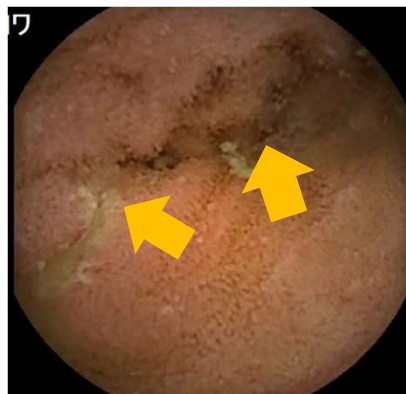
川崎幸病院消化器内科の岡本です。2012年、当院が新病院に移転した年に入職し、今年で9年目となりました。

救急病院として日々の診療を行う一方で、外来では長くお付き合いしている慢性疾患の患者様も多くなりました。当方の外来では、中でも炎症性腸疾患(IBD)の患者様を多く診療させて頂いております。

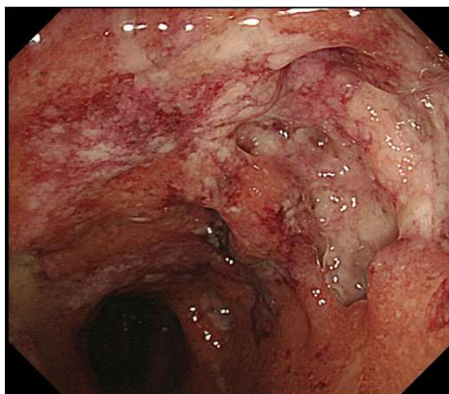
ここ数年、チオプリン製剤の重篤な副作用予測のためNUDT15遺伝子多型検査が行えるようになり、抗TNF- α 抗体製剤以外にも生物学的製剤の発展により治療の選択肢が増え、活動性評価の新しいバイオマーカー(便中カルプロテクチン、LRG)が保険承認されるなど、IBD診療は複雑化しています。当院ではその変化に合わせて、患者様により良い治療を提供できるよう日々努力しております。

また、当院では通常の上下部内視鏡検査以外に、カプセル内視鏡(小腸、大腸)、小腸内視鏡(バルーン内視鏡)も有しており、必要に応じて検査やバルーン拡張術などの治療を行うことができます。IBD診療だけではなく原因不明の消化管出血や小腸腫瘍などの精査も行っております。

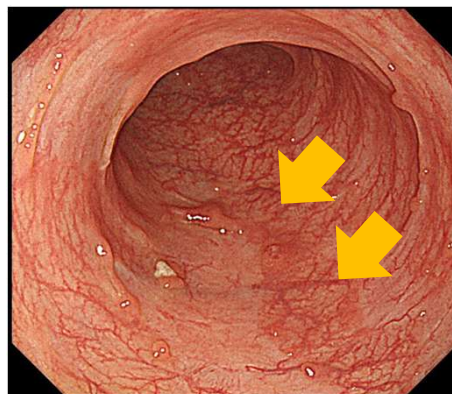
<クローン病の内視鏡像>



カプセル内視鏡で
小腸病変を確認



大腸に縦走潰瘍あり



治療開始後、潰瘍瘢痕化



消化器内科医員

栗田 裕治

■ 専門分野

消化器内科全般
上部消化管内視鏡検査
下部消化管内視鏡検査
内視鏡的逆行性胆管膵管造影(ERCP)

■ 略歴

2015年 日本医科大学医学部卒
2015年 川崎幸病院 初期臨床研修医
2017年 川崎幸病院 消化器内科

■ 学会認定・資格等

日本内科学会認定医

私は2015年に日本医科大学を卒業した後に初期研修医として川崎幸病院へ就職しました。2年間初期研修を行う中で、大前先生を始めとした諸先輩方の姿に憧れを抱き、2017年4月より消化器内科での後期研修を始めました。手厚い指導の下、上部消化管内視鏡検査・下部消化管内視鏡検査・逆行性胆管膵管造影(ERCP)・内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)と幅広く行わせて頂いております。まだまだ未熟者ではありますが、消化器内科医として今後努力する所存です。どうぞ宜しくお願い致します。



消化器内科医員

中島 祥裕

■ 専門分野

消化器内科全般
上部消化管内視鏡検査
下部消化管内視鏡検査

■ 略歴

2017年 東京医科大学医学部卒業
2017年 川崎幸病院 初期臨床研修医
2019年 埼玉石心会病院 専攻医
2020年 川崎幸病院 消化器内科

医師4年目、内科専攻医2年目の中島祥裕です。
初期研修は川崎幸病院で2年間研修し、昨年は内科専門医の兼ね合いで1年間系列の埼玉石心会病院内科専攻医として働き、今年から川崎幸病院に戻り消化器内科医として働かせて頂いております。まだまだ大腸内視鏡検査も修行中ですが幅広く内視鏡検査を行い、消化器内科医として多くの疾患を診ていきたいと思っております。



消化器内科 スタッフ

先生方からのご紹介に対して迅速にご対応させていただきます。今後ともよろしくお願いいたします。



後列左から

岡本法奈 消化器内科医長
谷口文崇 消化器内科医長
森重健二郎 消化器内科医長
塚本啓祐 消化器内科医長
高畑彩子 消化器内科医長
(第二川崎幸クリニック担当)

前列左から

中島祥裕 消化器内科医員
大前芳男 消化器内科部長
兼 内視鏡センター長
栗田裕治 消化器内科医員

外来部門 医師プロフィール

川崎幸クリニック 内視鏡室室長

■ 専門分野
消化器内科全般
内視鏡診断(上部・下部消化管)

第二川崎幸クリニック 消化器内科医長

■ 専門分野
消化器内科全般
内視鏡診断・治療
(上部・下部消化管、肝胆膵)

設楽 雅人

■ 学会認定・資格等
日本外科学会認定医・専門医
日本消化器内視鏡学会専門医

高畑 彩子

■ 学会認定・資格等
日本内科学会総合内科専門医
日本内科学会認定医
日本肝臓学会肝臓専門医
日本消化器病学会消化器病専門医・指導医
日本がん治療認定医
日本消化器内視鏡学会専門医

第二川崎幸クリニック 消化器系総合診療科部長 古谷 亮

■ 専門分野
消化器内科全般
内視鏡診断・治療(上部消化管)

■ 学会認定・資格等
日本消化器病学会専門医・関東地方評議員
消化器内視鏡学会専門医・指導医・学術評議員
人間ドック健診専門医・指導医
日本消化器がん検診学会認定医
感染症インフェクションコントロールドクター
産業医



オープン検査（内視鏡検査）のご案内

現在当院では、新型コロナウイルスの院内感染防止策として、3階より上階への入館制限をしております。3階で行う上部・下部内視鏡は入院患者さんとの接触が無いように、ゾーニングを行っております。

ご不便をお掛け致しますがご理解ご協力のほど何卒よろしくお願いいたします。

検査項目	検査日時	
上部内視鏡検査	月～土	9：30, 9：40, 9：50, 10：00, 10：10, 10：20
下部内視鏡検査	月～土	10：00来院
		前処置が必要なため、 1日がかかり の検査になります。
ポリペクトミー（大腸）	月～土	10：30来院
		※ 1泊入院 の検査になります。
	◎入院日前日から <u>3日以内</u> に胸部CT、採血をおこなっていただきます。	
上部・下部内視鏡1日検査	月～土	10：00来院
		前処置が必要なため、 1日がかかり の検査になります。
		腸内洗浄後、上部➡下部の順番に検査いたします。

検査時間につきましては、新型コロナウイルスの状況により変更となる場合もあります。

※ポリペクトミーで入院される患者さんにつきましては、新型コロナウイルス院内感染防止策のため、入院日前日から3日前までに胸部CTと採血検査を行っていただいております。詳細につきましては、ご予約時にご案内させていただきます。

■セデーションを行うことも可能です。

セデーション希望の患者さんには、血圧や血中酸素濃度をモニターしながら検査を行い、検査後もリカバリースペースにて十分休んでから帰宅していただきます。

検査後の車・自転車・バイクは大変危険です。徒歩または電車・バスでご来院ください。

川崎幸病院 オープン検査のご予約について

お電話にて24時間予約受付をしております

地域医療連携室直通

☎：044-544-4638

川崎幸病院代表

☎：044-544-4611



さいわい鶴見病院でも検査を受けることができます

川崎幸病院の常勤医が、さいわい鶴見病院で内視鏡検査を行っております。鶴見区にお住いの患者さん、お近くにお住いの患者さんがいらっしゃいましたら是非ともご利用ください。ご予約は「さいわい鶴見病院」までご連絡ください。

検査項目	検査日	担当医
上部内視鏡	月曜日 午前	塚本
	火曜日 午前	谷口（1・3週） 岡本（2・4・5週）
下部内視鏡	木曜日 午後	大前



医療法人社団 新東京石心会
さいわい鶴見病院

横浜市鶴見区豊岡町21-1
045-581-1417(代表)

JR鶴見駅(西口) 徒歩4分

京急鶴見駅(西口) 徒歩8分

※お車で来院される場合、周辺が一方通行のためご注意ください

胃瘻の定期交換について

川崎幸病院で行っておいりました胃瘻交換は、2021年1月以降、さいわい鶴見病院にて下記日時に実施いたします。

胃瘻交換日時：毎週火曜日 8:30 又は 10:00

詳細、ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

さいわい鶴見病院 胃瘻交換担当 ☎045-581-1417(代表)

予約受付：8:30～16:00(月曜日～金曜日)



消化器内科専門外来のご案内

消化器内科専門外来担当表 (2020年12月現在)

川崎幸病院常勤医: **赤字**

■消化器内科	時間帯	月	火	水	木	金	土
第二川崎幸クリニック ※第4週は岡本法奈医師	午前	岡本 法奈	森重 健二郎	中島 祥裕	大前 芳男	谷口 文崇	南 達也
		加藤 裕之	高畑 彩子		高畑 彩子	星岡 賢英	
						圓地 眞知子	
	午後	栗田 裕治	武田 剛志	塚本 啓祐		※大前 芳男	
				菊岡 良考		高畑 彩子	
						圓地 眞知子	
さいわい鹿島田クリニック	午前	邱 明麟	設楽 雅人				邱 明麟
	午後			邱 明麟			
■消化器系総合診療科	時間帯	月	火	水	木	金	土
第二川崎幸クリニック ○1・3・5週	午前	古谷 亮	古谷 亮	古谷 亮	武藤 芳樹	古谷 亮	石塚 裕人
				高橋 孝慈		淵上 綾子	天沼 誠
	午後	古谷 亮	古谷 亮		佐藤 高広	古谷 亮	○星岡 賢英
					武藤 芳樹		

外来診療は全て予約制となりますので、各施設へご連絡ください。

第二川崎幸クリニック

川崎市幸区都町39-1

☎044-511-2112

さいわい鹿島田クリニック

川崎市幸区新塚越201番地

☎044-556-2722

川崎幸病院では吐血・下血・腹痛などの急性期消化器疾患には**24時間365日**対応しています。緊急内視鏡検査および治療は**24時間体制**で行っております。緊急を要する患者さんのご紹介は**川崎幸病院地域医療連携室(044-544-4638)**までご連絡ください。



社会医療法人財団 石心会

川崎幸病院

川崎市幸区大宮町31番27



救急/入院

代表(24時間対応)

☎044-544-4611

緊急を要する患者さんの紹介は下記へご連絡ください。

地域医療連携室直通

☎044-544-4638

